

2025年度 防災に関する 意識調査結果のあらまし



あいち防災キャラクター
防災ナマズン

県内にお住まいの1,502人から回答いただきました。

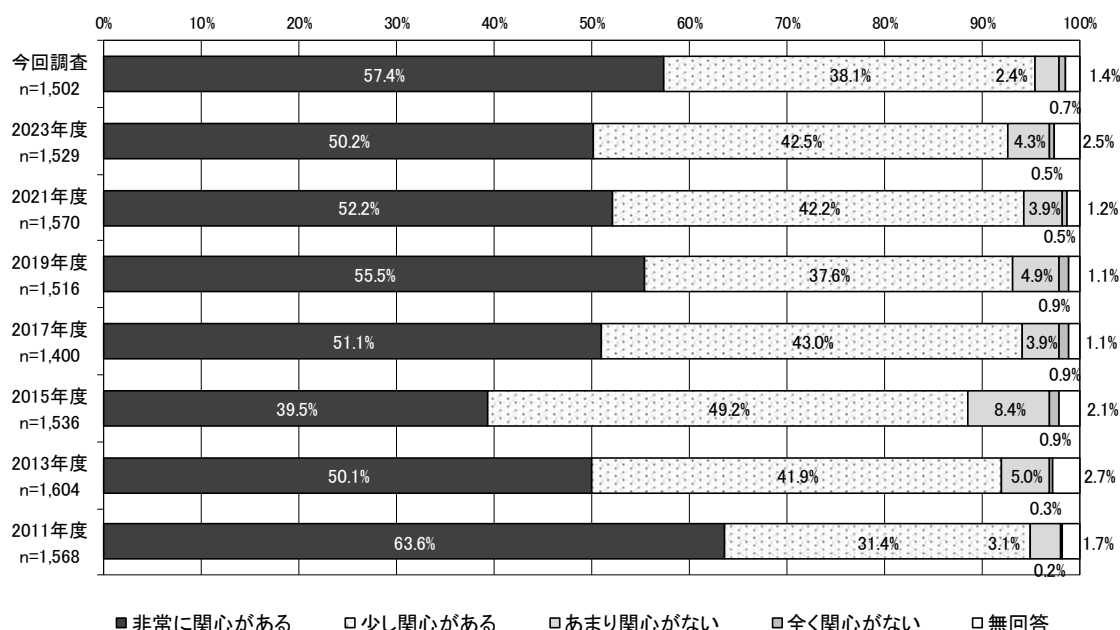
南海トラフ地震や豪雨など大規模災害への関心

あなたは、南海トラフ地震や豪雨などの大規模災害の発生に関心がありますか？

「非常に関心がある」と「少し関心がある」を合わせ、95.5%の人が「関心がある」と答えています。また、その割合は前回より2.8ポイント増加しています。

※2015年度から2019年度は東海地震、東南海地震、南海地震等の南海トラフ地震についての関心です。

2011年度、2013年度は東海地震、東南海地震、南海地震等の連動発生についての関心です。



注：図中などで用いている記号nは回答者数を示しています。

本調査の概要

- 調査地域 愛知県全域
- 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- 調査対象 18歳以上の県民 3,000人
- 調査時期 2025年9月16日～10月24日
- 調査方法 郵送・インターネット併用
- 有効回答率 50.1% (1,502人)
- 調査委託先 ジオエイト合同会社
名古屋市北区芦辺町3-10



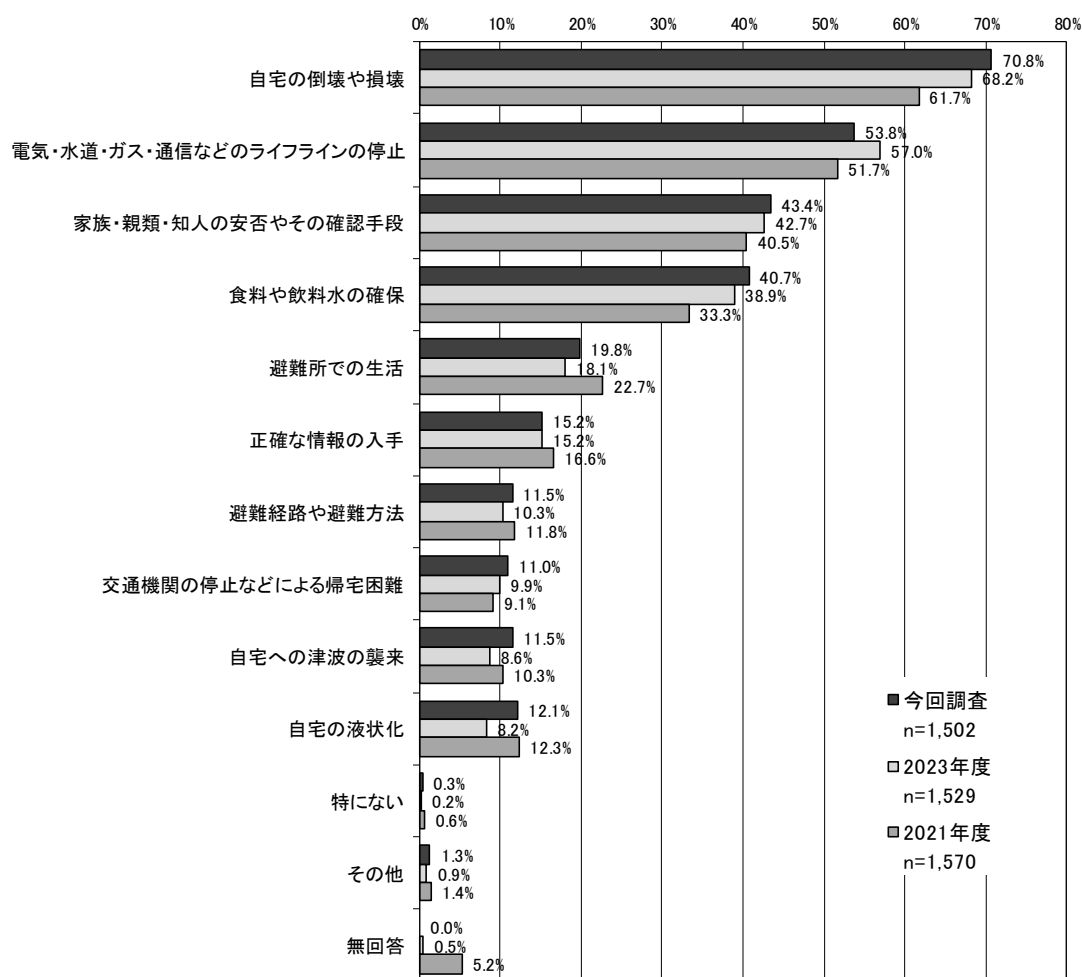
防災安全局防災部防災危機管理課啓発グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話：052-954-6190（ダイヤルイン）
e-mail: bosai@pref.aichi.lg.jp

南海トラフ地震等大規模災害発生時の不安

南海トラフ地震等の大規模災害が発生した場合、不安や危険に思うことは何ですか？

(〇は3つまで)

70.8%の人が「自宅の倒壊や損壊」、53.8%の人が「電気・水道・ガス・通信などのライフラインの停止」と答えています。



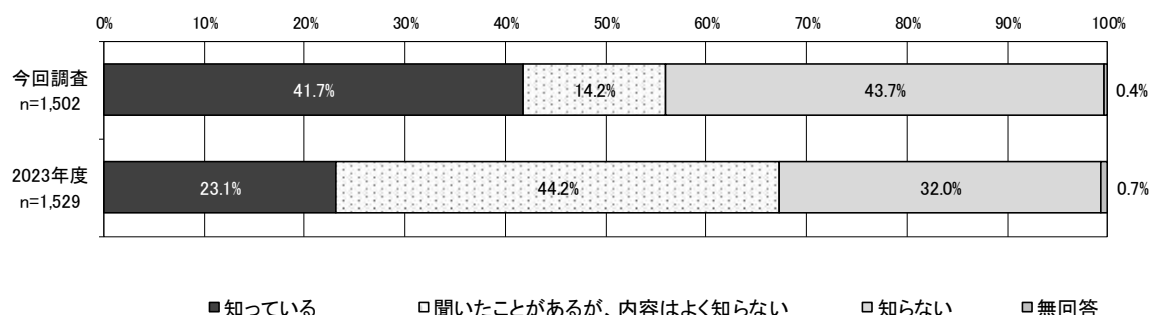
「南海トラフ地震臨時情報」の認知

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、想定震源内で大規模地震や地殻変動など異常な現象が観測された場合に、気象庁より発表されます。「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知ですか？

41.7%の人が「知っている」と答えています。

また、その割合は前回より 18.6 ポイント増加しています。

※2023 年度から、『「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知ですか？』の質問を設定しました。



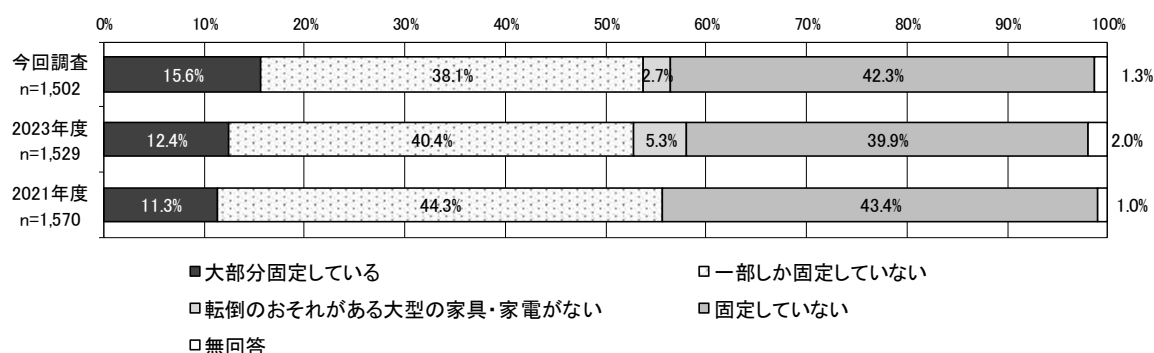
家具などの転倒防止対策

ご自宅に地震により転倒のおそれがある、大型の家具・家電（冷蔵庫・テレビなど）はありますか？

家具や家電を固定するなどの対策をしていますか？

56.4%の人が、『家具などの固定を「大部分」又は「一部」している』又は、『転倒のおそれがある大型の家具・家電がない』と答えています。

※2023 年度から、「ご自宅に地震により転倒のおそれがある、大型の家具・家電（冷蔵庫・テレビなど）はありますか？」の質問を設定しました。

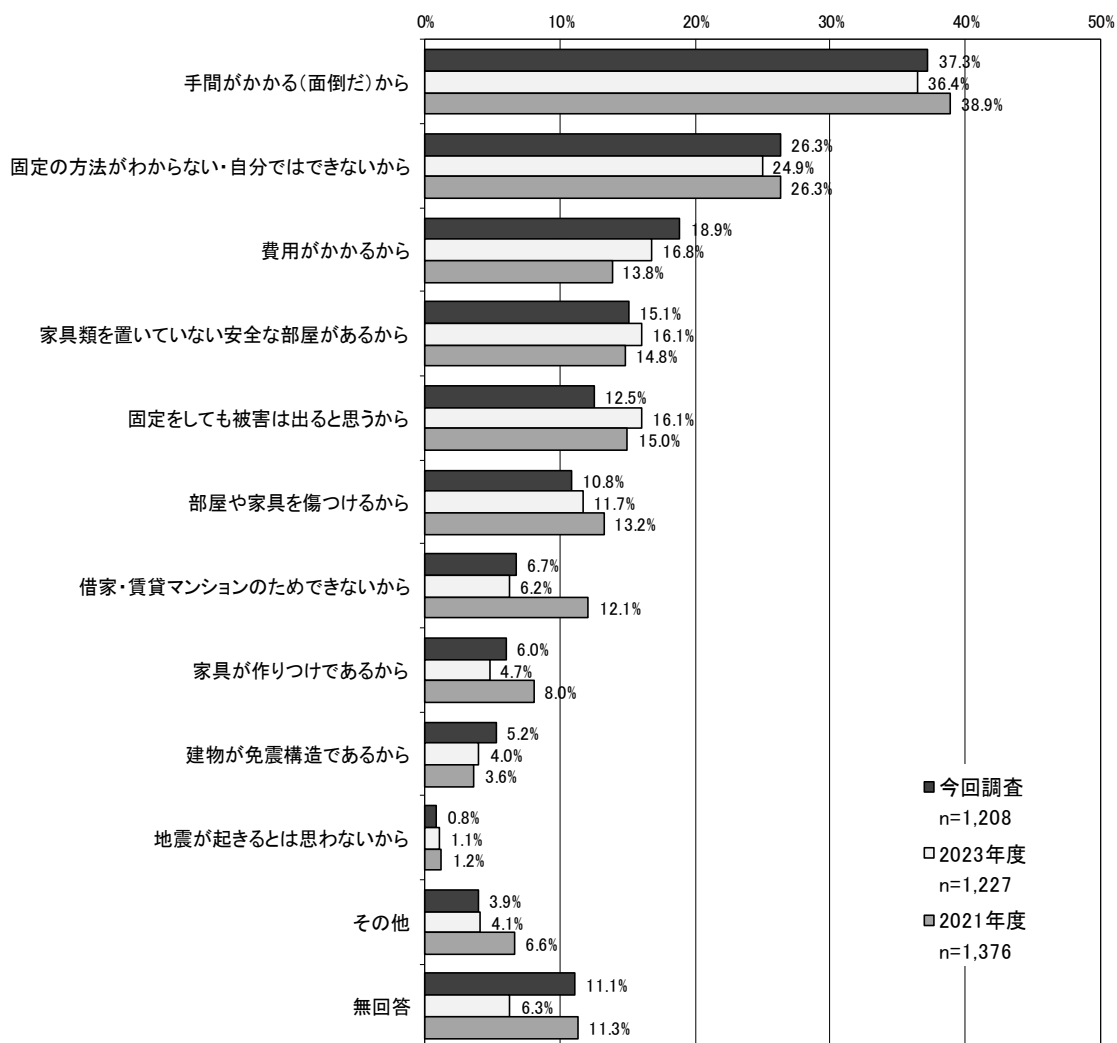


家具などを固定しない理由

〈家具固定に関する設問で、「一部しか固定していない」「固定していない」と回答した方にうかがいました〉

家具・家電を固定していない理由は何ですか？（○は主なものを3つまで）

多い理由は、「手間がかかる（面倒だ）」（37.3%）、「固定の方法がわからない・自分ではできない」（26.3%）などとなっています。



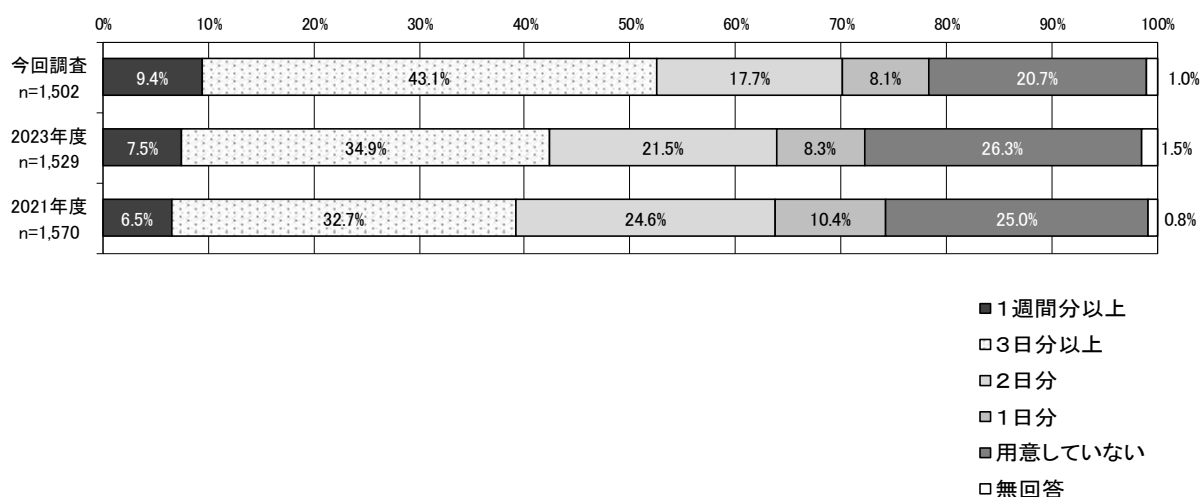
食料・飲料水の備蓄

大規模地震の発生に備えて、非常用の食料や飲料水は、可能な限り1週間程度、最低でも3日分程度が必要だといわれています。あなたのお宅では、大規模災害の発生に備えて食料や飲料水を何日分備蓄していますか？

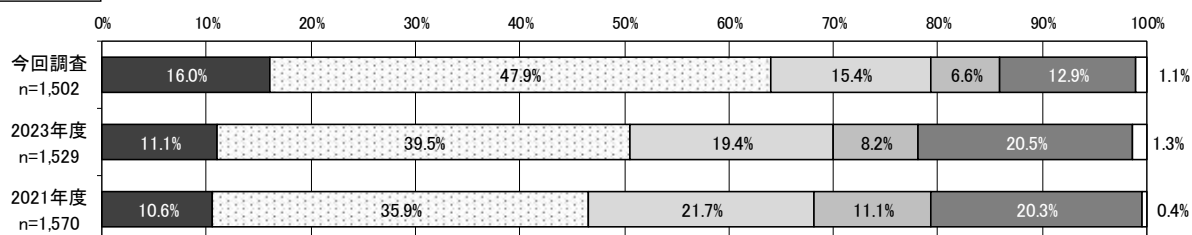
非常用の食料や飲料水を「3日以上用意している」と答えている人は、食料が52.5%、飲料水が63.9%です。また、「用意していない」人の割合は、食料が前回より5.6ポイント減少し、飲料水が前回より7.6ポイント減少しています。



食 料



飲 料 水



・ 防災豆知識

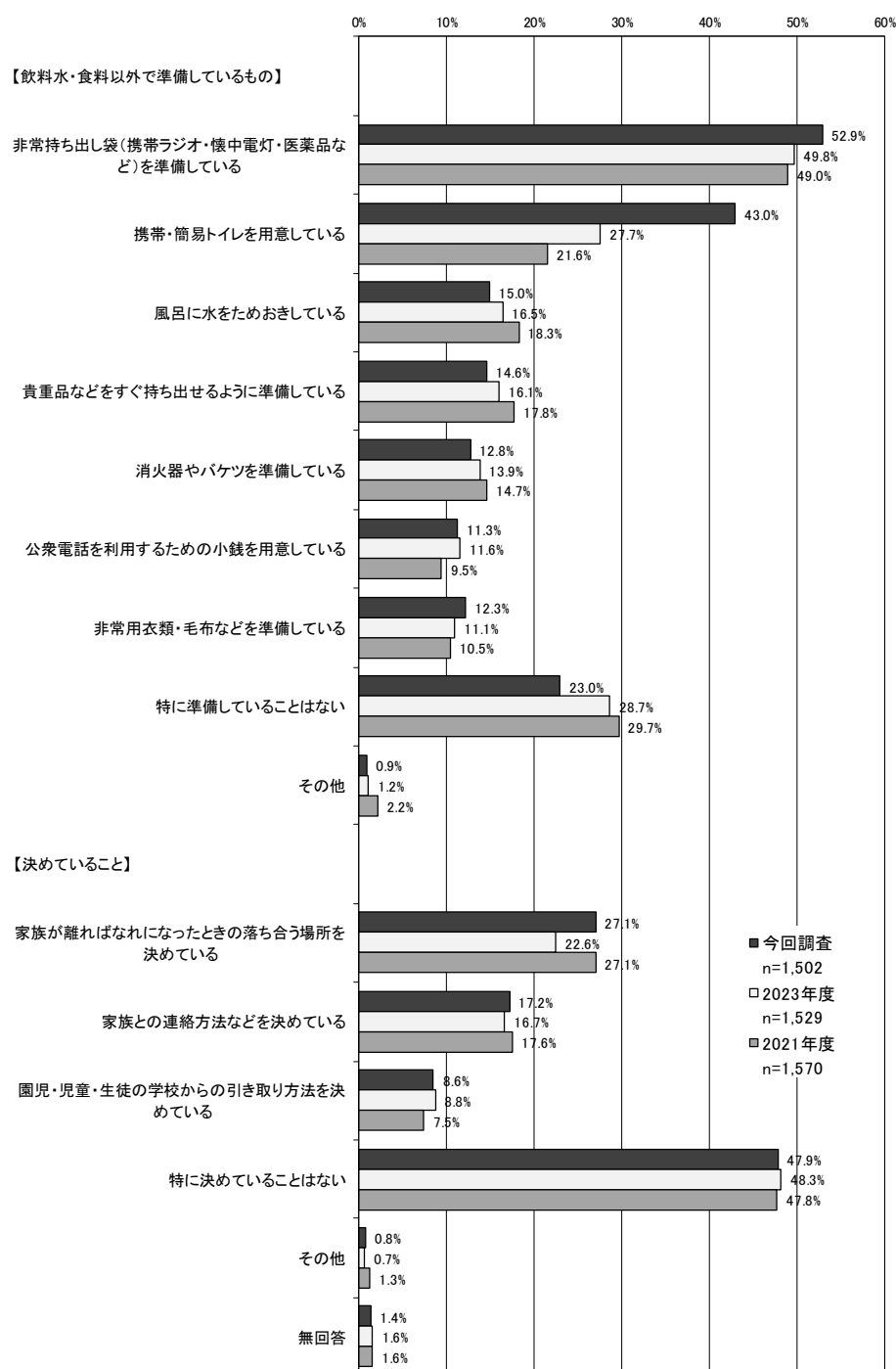
地震などの広域災害の場合、救援物資がすぐ被災地に届くわけではありません。非常持ち出し品、3日以上（可能な限り1週間分程度）の食料、飲料水、携帯トイレなどを日ごろから準備しておきましょう。備蓄品は感染症等により自宅療養される場合の備えにもなります。



家庭での災害対策

あなたのお宅では、南海トラフ地震や豪雨などによる大規模災害が発生した場合に備えて、次の対策のうち日頃から行っていることはありますか？（〇はいくつでも）

飲料水・食料以外では、52.9%の人が「非常持ち出し袋」を準備し、43.0%の人が「携帯・簡易トイレ」を用意し、27.1%の人が「家族が落ち合う場所」を決めていると答えています。

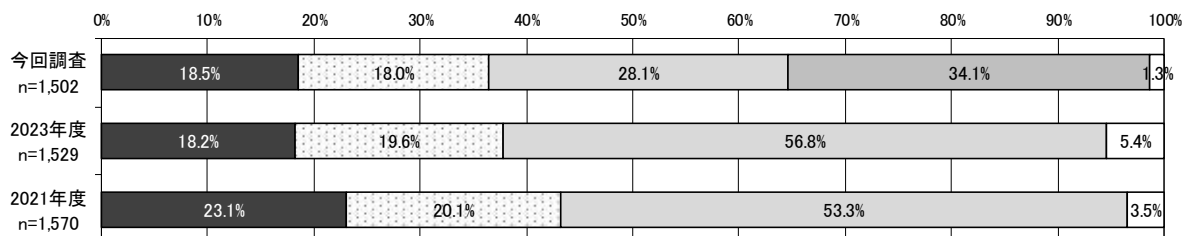


感震ブレーカーの設置

あなたのお宅では感震ブレーカーを設置していますか？

18.5%の人が「設置している」と答えています。また、その割合は0.3ポイント増加しています。一方で34.1%の人が「わからない」と答えています。

※今回の調査から「わからない」の選択肢を設定しました。

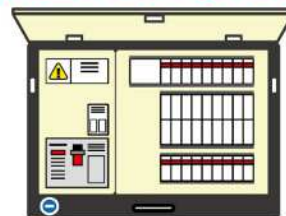


- 設置している
- 感震ブレーカーの存在は知っているが、設置していない
- 感震ブレーカーの存在を知らないので、設置していない
- わからない
- 無回答

・ 防災豆知識

感震ブレーカーとは、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

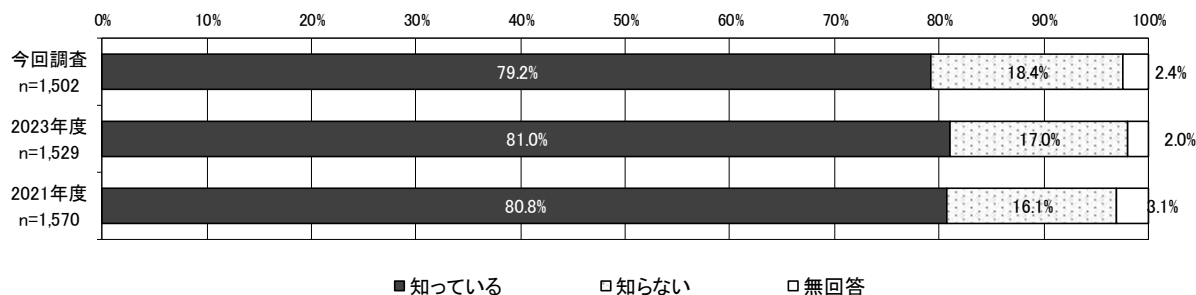
**感震ブレーカーを
設置しましょう!!**



避難場所

大規模災害などに備えて、市町村ではあらかじめ避難場所を指定しています。あなたは、指定された避難場所を知っていますか？

79.2%の人が「知っている」と答えています。また、その割合は前回より 1.8 ポイント減少しています。



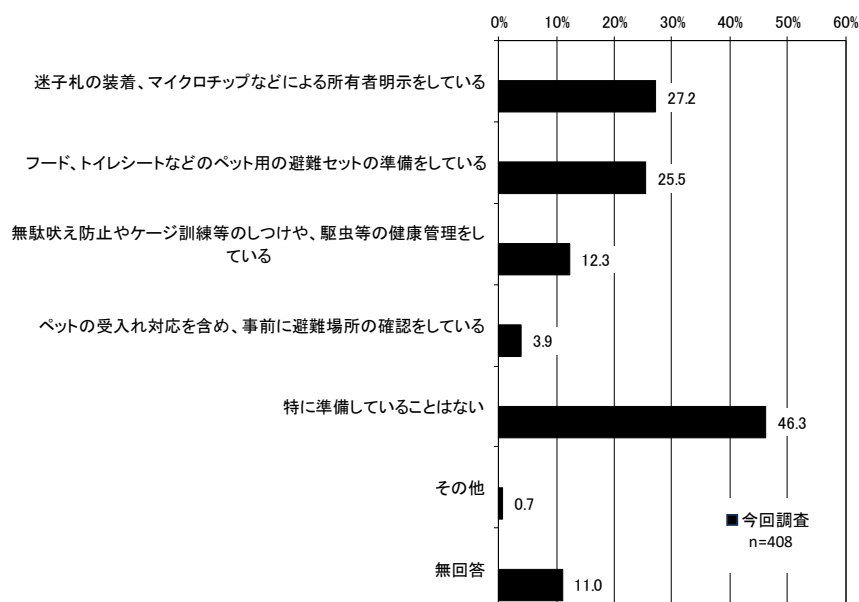
ペットの災害対策

〈ペットに関する設問で、「犬を飼っている」「猫を飼っている」「その他（ ）を飼っている」と回答した方にうかがいました〉

ペットの災害対策として次のうち日頃から行っていることはありますか？（〇はいくつでも）

27.2%の人が、「迷子札の装着、マイクロチップなどによる所有者明示」をしており、25.5%の人が、「フード、トイレシートなどのペット用品の避難セットの準備」をしていると答えています。

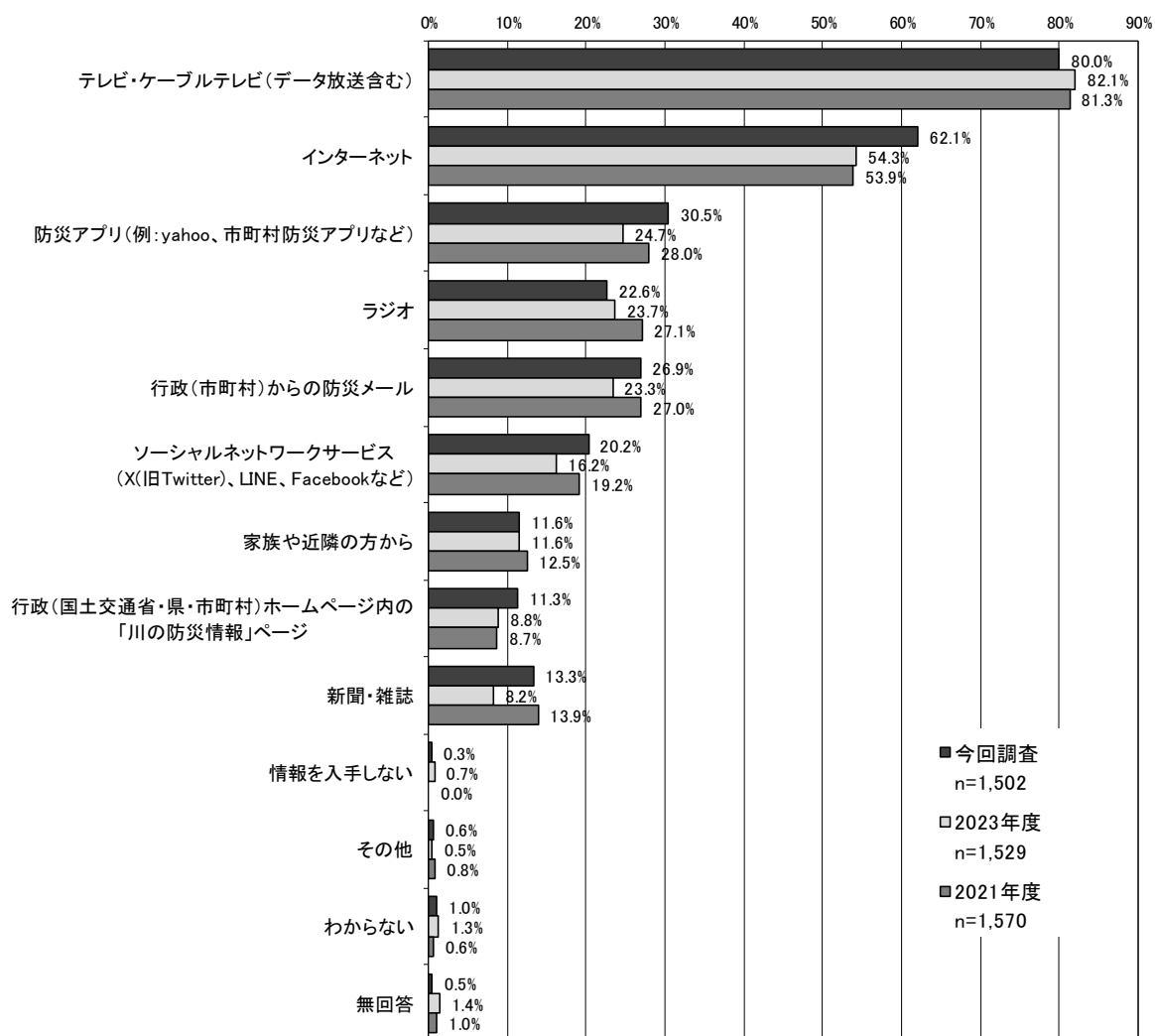
※今回の調査から、「ペットの災害対策として次のうち日頃から行っていることはありますか？」の質問を設定しました。



豪雨などの時の雨や河川の情報源

あなたは豪雨などの時に雨や河川の情報はどこで入手しますか？（〇はいくつでも）

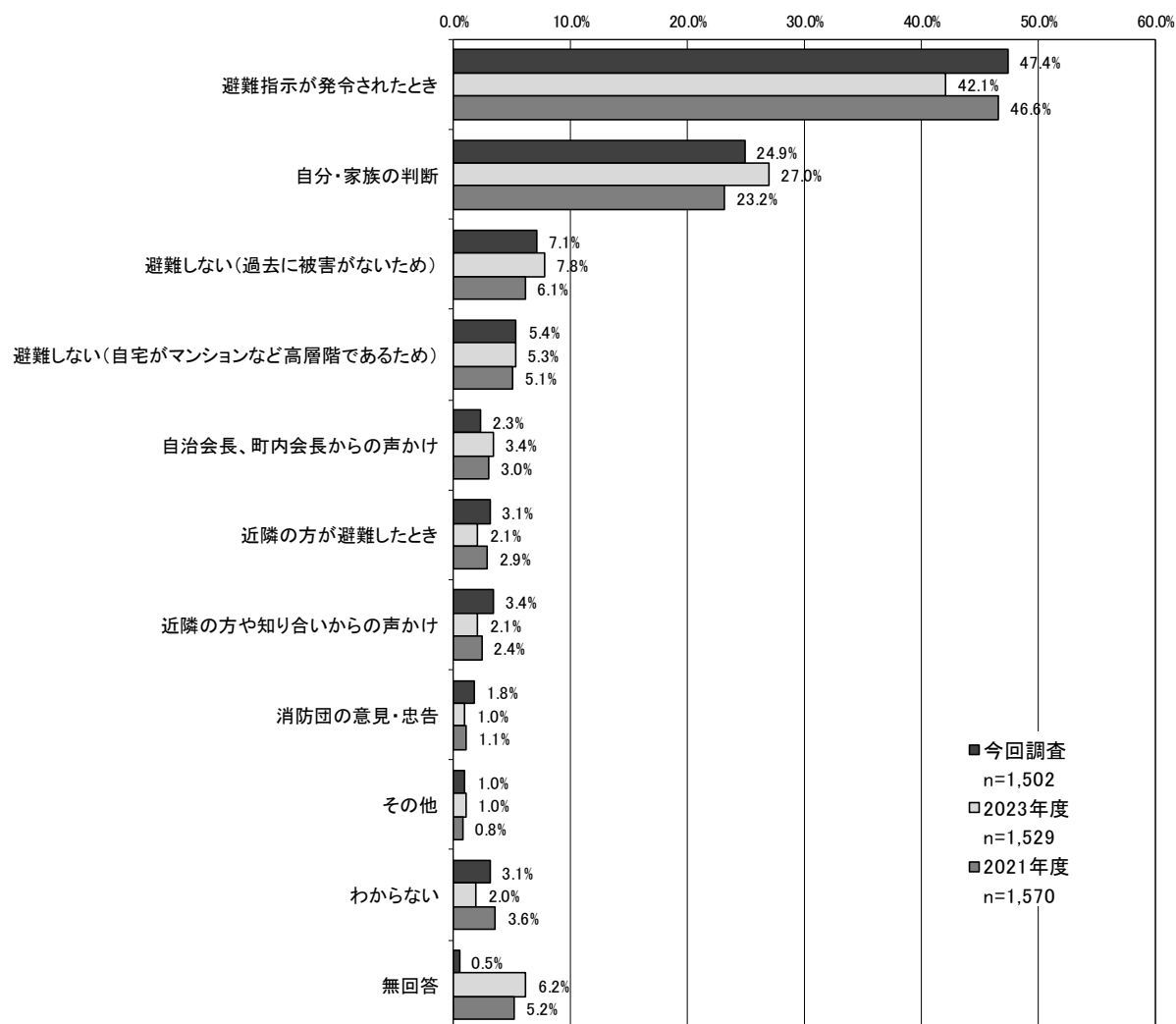
「テレビ・ケーブルテレビ（データ放送含む）」（80.0%）、次いで「インターネット」（62.1%）、「防災アプリ」（30.5%）の順となっています。



水災害時の避難

あなたは台風等の水災害時にどのような状況になったら避難しますか？

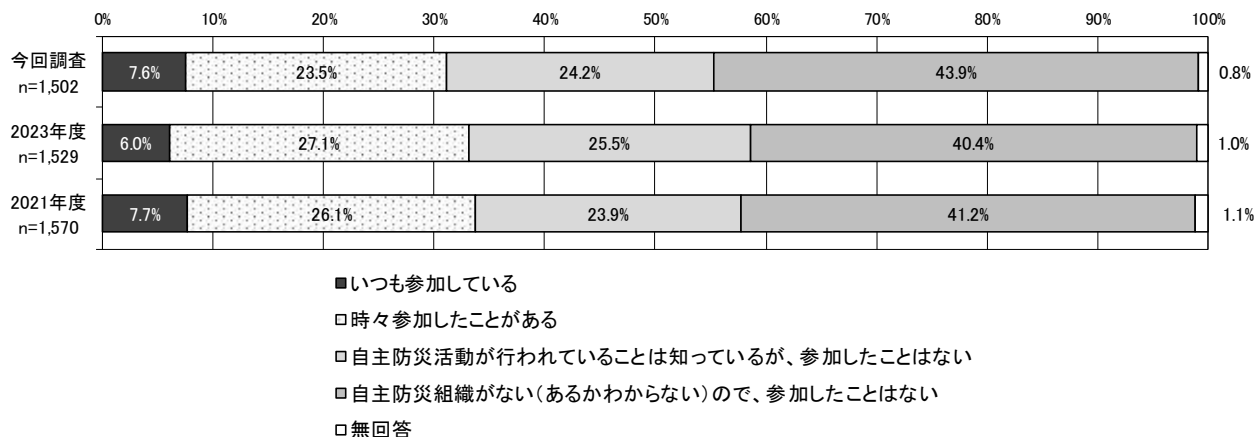
47.4%の人が「避難指示が発令されたとき」、24.9%の人が「自分・家族の判断」と答えています。



地域の自主防災活動への参加経験

町内会や自治会、自主防災組織（消防団を除く）などにおいても住民の自主的な防災訓練や防災活動（防災機材の点検、防災知識の普及など）が行われています。あなたは、こうした自主防災活動に参加したことがありますか？

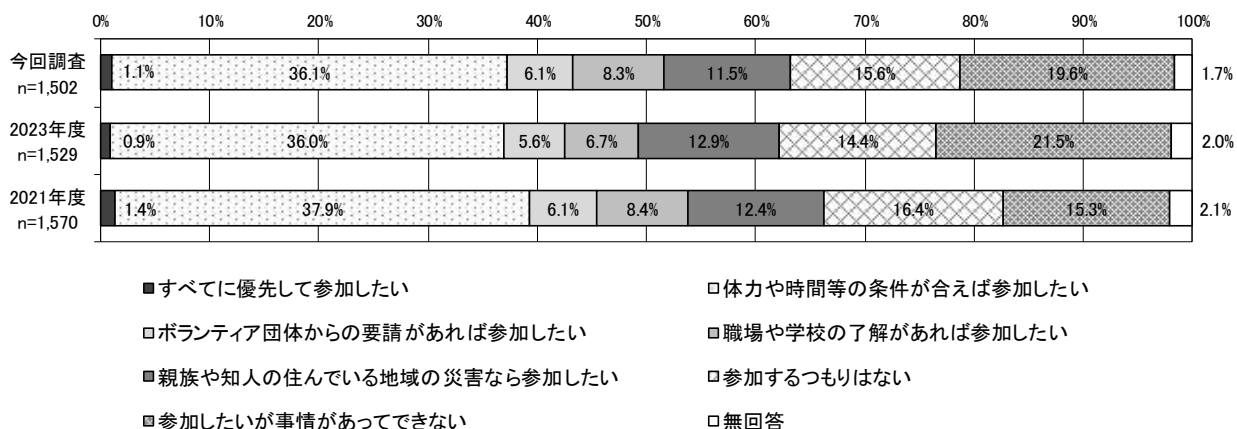
自主防災活動に31.1%の人が「いつも参加している」又は「時々参加したことがある」と答えています。また、その割合は前回より2.0ポイント減少しています。



被災地でのボランティア活動への参加意向

災害が発生すると、被災地では救援・医療活動や復旧活動、物資の搬送や情報伝達といった様々な支援が必要となってきます。あなたはお住まいの地域以外で災害が発生したとき、このような活動にボランティアとして参加したいと思いますか？

63.1%の人は、条件次第で「参加したい」と答えています。また、その割合は前回より1.0ポイント増加しています。



県や市町村に力を入れてほしい防災・災害対策

あなたが、県や市町村に特に力を入れてほしい防災・災害対策は、どのようなことですか？

(○は3つまで)

54.0%の人が「食料、飲料水、医薬品の備蓄」、34.6%の人が「救急、救助、医療体制の充実」、32.4%の人が「ライフライン(電気、ガス、水道、電話等)の復旧情報のすみやかな伝達」、と答えています。

